第 24 回定例総会を終えました

代表理事　小島美里

毎年 6 月中旬に開く暮らしネット・えん総会、梅雨のさなかですが、記憶にある限り雨に降られたことがありません。今年も予報を裏切って曇り空の中で開かれました。報告、決算、計画、予算とすべての議案を承認いただき、その後記念講演『私たちが地域でできること』(中澤まゆみさん)まで 3 時間半、ご出席の皆様ありがとうございました。

えんの総会議案書は、一時 100 ページ越えになりましたが、今年は 94 ページに収まりました。なぜこんなに分厚くなるかと言えば、1 年間の記録を残すためにそれぞれの事業所でしっかり話し合った内容をまとめているからです。この議案書はえんの貴重な財産であり、地域での介護福祉の貴重な証言となっていると自負しております。

さて、ご報告事項の一番は本来なら今頃着工していたはずの小規模多機能型介護「多機能ホームまどか」の新築を延期したことです。4 月初めにはすべての準備が整い、融資決定を待つばかりになりました。ところが米国・イスラエルのイラン攻撃が原因で建築資材の 4 割を超える高騰という情報が入り、予算を大きくオーバーするのは目に見えているため、いったん中止としました。時間をかけて準備した事業がこんな形で延期せざるを得なくなったことは残念でなりません。しっかり状況を見極めて結論を出します。

また、「赤字にしない！」を掲げながら、達成することができませんでした。要因はハッキリしています。運営に充てる基本報酬が 26 年間上がっていないからです。無駄な支出はないと会計事務所のお墨付きで、余計な支出はありません。それなのに赤字とは…。超高齢社会の本番を迎えたこれから、介護サービス、特に在宅介護は絶対に必要なのに、国は何を考えているのでしょうか。

希望はあります。世代交代を目指し次代を担うスタッフたちが責任をもって組織運営にかかわってくれるようになり、頼もしい限りです。これからのえんが少しずつ動き始めています。

えんは「モノ言う介護 NPO」として知られています。現状を国や自治体にしっかり届ける努力も引き続き行います。今年度も皆さんの応援をお願い申し上げます。



利用者の皆さんとスタッフによる手作り提灯